

えひめ 土地改良だより

2024.1
Vol.529



みどり
水土里ネット 愛媛
(愛媛県土地改良事業団体連合会)



冬期湛水田に舞い降りたコウノトリ（西予市宇和町山田）

CONTENTS

ご挨拶

- 新年のご挨拶
愛媛県土地改良事業団体連合会 会長 篠原 実……1
新年のご挨拶
愛媛県農林水産部 部長 末永 洋一……2
新年のご挨拶
愛媛県農林水産部農業振興局農地整備課 課長 宮田 正孝……3

予算情報

- 国の農業農村整備事業関係令和5年度補正予算及び
令和6年度予算概算決定の概要……4
愛媛県の令和5年度12月補正予算（総合経済対策関係）の概要……6

トピックス

- 第45回全国土地改良大会福井大会開催
水土里がある 幸福がある 笑顔がある
～ふくいで語る土地改良の未来～……7
「農業農村整備の集い」の開催……8
国営事業3地区の合同陳情……9
農業農村整備に関する意見交換会の開催……11

- 土地改良区の統合整備～合併予備契約の締結～
【松山市太山寺土地改良区と松山市勝岡土地改良区】……11

取組事業の紹介

- 今治市犬塚池における池内堆積泥土を有効利用した
ため池改修工事の取組について……12

地方の声

- 多面的機能支払交付金活動事例……13

水土里ネット情報

- 令和5年度県土連理事会開催……15
「令和5年度土地改良区役職員研修会」を開催……16
令和5年度換地計画実務研修会開催……16

お知らせ

- イベント情報……8
「えひめ水土里ネット女性の会」会員の募集……15
「愛媛のたなだん」フォトコンテスト2023入賞作品決定！……17
愛媛県ため池保全サポートセンター……18



新年のご挨拶

愛媛県土地改良事業団体連合会
(水土里ネット愛媛)

会長 篠原 実

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は、本県農業農村整備の推進はもとより、水土里ネット愛媛の活動、運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

また、能登地方を震源とする大規模地震により犠牲となられた方々に心よりお悔み申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地域の皆様の安全確保並びに一日も早い復旧・復興を衷心よりお祈り申し上げます。

さて、長引くコロナ禍の収束を願いながら幕を開けた令和5年でしたが、5月に新型コロナウイルス感染症の位置付けがこれまでの2類相当から5類感染症に移行されたことに伴って、マスク着用などの感染対策は個人や事業者の判断が基本とされました。

「やっと」「ようやく」の気持ちが詰まった「4年ぶり」という言葉があちらこちらで飛び交うようになり、これまで自粛要請されていたイベントの復活や県内外への旅行客の増加という動きが見受けられるようになってきたのは喜ばしい限りです。

一方で、ロシアによるウクライナへの侵攻の長期化、一向に変わる気配のない地球規模での気候変動、さらには日本とアメリカの金融政策の違いなどにより、生活全般に関わる物価高騰の波が押し寄せてきており、私たちの事業や生活に大きな影響をもたらしています。

こうした状況は、収まるどころか増々拡大する傾向にあり、国際社会の分断や対立、主要産地の生産の不安定化・広域化、国境を越える家畜疾病・病害虫の発生などに歯止めがかからない中では、従来から声高に叫ばれている我が国の食料安全保障は、更なる対策が急務であり、まさに喫緊の課題となっています。

そのためにも、食料供給力の向上に欠かすことのできない農地の大区画化・汎用化、農業水利施設の維持・保全等を図る土地改良事業の迅速な推進は極めて重要であり、今後とも土地改良関係者が一丸となって食料の安定供給を下支えしていく必要があります。

このような中、昨年末に閣議決定された令和6年度予算案において、農業農村整備に係る予算は、4,463億円、令和5年度補正予算と合わせれば昨年度を106億円上回る6,240億円が確保されました。

水土里ネット愛媛といたしましては、地元関係者のニーズが高い農地中間管理機構関連農地整備事業やため池の改修はもとより、各種農業農村整備施策に必要な本県予算の確保に向けて、会員の皆様と連携しながら、全力で取り組んで参りますので、今後とも皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

最後になりますが、輝かしい年の初めにあたり、皆様ますますご活躍され、新しい年が素晴らしい一年となりますようご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

愛媛県農林水産部

部長 末永洋一

令和6年の新春を迎え、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

はじめに、この度の能登半島地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈りいたしますとともに、ご遺族の方々に心からお悔やみを申し上げます。被災地の皆様の安全と一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

さて、平素から、愛媛県土地改良事業団体連合会会員の皆様方には、農業農村整備事業の推進はもとより、農林水産行政をはじめ、県政の各般にわたり、格別の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年5月、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、半年余りが経過しました。日常生活における制約がなくなって県内の社会経済活動は着実に回復し、活発化しています。一方、ロシアによるウクライナ侵略が長期化する中、緊張度の増すパレスチナ紛争やALPS処理水放出に対する中国の動向など、世界情勢の先行きは見えず、世界的な食料安全保障上のリスクが高まっています。このような中、国では、「農政の憲法」と言われる食料・農業・農村基本法の見直しに向けた検討・議論を重ねており、本年の通常国会においても十分に議論され、全国民と国内農業の現状を共有するとともに、日本の農政への理解を深めることができればと期待するところです。

ご案内のとおり人口減少や高齢化により、国内の食市場が縮小していくとみられる一方で、世界の人口は増加が予測されており、国際的な食市場は拡大傾向にあります。

県におきましては、国際的市場ニーズを見極めながら、柑橘の重点的かつ戦略的な輸出強化を進めており、「misho(河内晩柑)」や「みかん愛鯛」を世界最大規模の国際卸売市場とされるパリ郊外の「ランジス市場」等に売り込み、欧州での新たな販路拡大に向けたチャレンジをはじめたところです。他方、以前から柑橘栽培の技術交流を行ってきたスリランカとは、農業分野での人材交流をより深化するための覚書を締結するなど外国人材の受け入れも進めています。

また、県政の最優先課題である西日本豪雨災害からの復興につきましては、昨年までに「原形復旧」「改良復旧」は全て完了し、災害に強く生産性の高い園地に復興する「再編復旧」では、4地区全てで工事が本格化し、今春には、2地区において一部園地で植栽を予定しています。さらに、工事と並行して、紅プリンセスをはじめとする優良品種の導入や高品質果実の安定生産に欠かせないハウス施設の整備、マルチドリップ栽培や根域制限栽培等の先進技術の活用も支援することとしており、今後とも、未来志向で挑戦し続け、儲かる農林水産業の実現を目指していきたくと考えています。

皆様方におかれましても、本県の取組みに御理解と御協力をいただき、「愛顔あふれるえひめの農業・農村」の持続的な発展と次世代への継承に、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、貴連合会の益々の御発展と会員の皆様方の御健勝・御多幸を心から祈念申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

愛媛県農林水産部農業振興局
農地整備課

課長 宮田 正孝

新たな年を迎え、謹んで御挨拶を申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃より本県の農業農村整備事業の推進に格別の御理解と御支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年11月に、デフレからの完全脱却に向けた物価高対策や国民の安全・安心確保対策に係る国の令和5年度補正予算が成立しました。これを受け、県では、水田のほ場整備や樹園地の再編整備、農業水利施設の保全対策、ため池の改修・耐震補強等を推進するため、約25億円の補正予算を確保したところです。

さらに、昨年12月には、6年度政府予算案が閣議決定され、農業農村整備事業関連では、5年度補正予算と合わせて対前年度比102%の6,240億円が確保されています。

これも皆様方の声が国政に届いたことによるものであり、心から感謝申し上げますとともに、皆様方の御期待に添えるよう、必要な予算の安定的な確保と関連する施策の充実・強化を引き続き要請してまいります。

県では、5年6月に策定した「愛媛県総合計画～未来につなぐ えひめチャレンジプラン」に基づき、「平成30年7月西日本豪雨災害からの柑橘園地の創造的復興」を最優先に、「農業農村を支える担い手対策」と「農業農村の防災・減災対策」の3つを施策の柱として、各種事業を展開しています。

1点目の「柑橘園地の創造的復興」は、関係農家や市町、関係機関の皆様方の御尽力により原形・改良復旧の工事が完了し、再編復旧4地区の工事が本格化しています。今後も「復旧した園地で収穫が始まってこそ完全復興」との共通認識のもと、関係機関と連携し、農家の皆様方に寄り添った支援に取り組むとともに、一日も早い工事完了に全力で取り組んでまいります。

2点目の「担い手対策」では、意欲ある担い手の規模拡大や所得向上につながる基盤整備を推進しています。水田では、県営15地区360haに加え、国営「道前平野地区」（西条市）で650haのほ場整備を実施しています。また、樹園地では、県営11地区87haで再編整備を実施しているほか、大規模な整備が困難な園地を対象に、安価で即効性が高く営農への影響が少ない整備手法を確立するため、県下2地区でモデル園地を整備しており、愛媛大学とも連携して効果を検証し、今後の補助事業化に繋げることをとしています。

3点目の「防災・減災対策」では、防災重点ため池の改修や耐震補強等のハード対策に加え、ハザードマップの公表や昨年度から取り組んでいる「ため池遠隔監視システム」のモデル整備（県下9箇所）など災害時の迅速な避難行動につながる初動体制の強化や、令和3年度に開設した「愛媛県ため池保全サポートセンター」による点検・パトロール、管理者からの相談対応等のため池の管理・監視体制の強化等、ハード・ソフトを組み合わせ、安全・安心な農村づくりに取り組んでいます。

結びにあたり、このような本県の取組に引き続きご理解をいただき、変わらぬ御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、愛媛県土地改良事業団体連合会並びに会員の皆様方の益々の御発展と御健勝をお祈り申し上げます、新年の御挨拶とさせていただきます。

国の農業農村整備事業関係令和5年度補正予算及び 令和6年度予算概算決定の概要

令和5年11月29日に成立した令和5年度補正予算では、農林水産省全体で8,182億円が計上され、その内、農業農村整備事業関係予算は、『食料安全保障の強化に向けた構造転換対策』、『総合的なTPP等関連政策大綱』に基づく施策の実施』、『防災・減災、国土強靱化と災害復旧等の推進』のための対策を対象として1,777億円が計上されている。

また、12月22日に閣議決定された令和6年度予算概算決定では、農林水産省全体で総額2兆2,686億円（前年度比100.0%）が計上されている。

その内、農業農村整備事業関係予算は、農業農村整備事業3,326億円、農山漁村地域整備交付金588億円、農業農村整備関連事業（非公共）548億円の4,463億円（前年度比100.1%）が計上されており、令和5年度当初予算から6億円増額されている。

この他、非公共予算として、多面的機能支払交付金486億円、中山間地域等直接支払交付金261億円などが計上されている。

令和6年度 農業農村整備事業関係予算概算決定の概要（国費）

（単位：億円）

事 項	R 4 補正	R 5 当初 ①	R 5 補正	R 6 当初 ②	対前年 度比 ② / ①
農業農村整備事業（公共）	1,677	3,323	1,777	3,326	100.1%
国営かんがい排水	138	1,038	138	1,033	99.5%
国営農地再編整備	204	403	226	396	98.2%
国営総合農地防災	64	281	77	269	95.6%
直轄地すべり		7		7	100.0%
水資源開発	6	85	10	85	100.0%
農業競争力強化基盤整備	820	635	891	680	107.1%
農村地域防災減災	400	411	393	381	92.7%
中山間地域農業農村総合整備	13	49	14	45	92.0%
農村整備	14	72	12	69	94.9%
土地改良施設管理	17	213	15	231	108.4%
その他		127		130	102.7%
農山漁村地域整備交付金（NN分）		591		588	99.6%
【公共 計】	1,677	3,914	1,777	3,914	100.0%
農業農村整備関連事業（非公共）		543		548	100.9%
農地耕作条件改善事業		200		198	99.0%
農業水路等長寿命化・防災減災事業		282		282	100.0%
畑作等促進整備事業		20		22	110.0%
農山漁村振興交付金		41		46	112.2%
【公共・非公共 合計】	1,677	4,457	1,777	4,463	100.1%

（注）1 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しない場合がある。

2 計数整理の結果、異動を生じることがある。

《その他非公共予算》

(単位：億円)

事業名	R4 補正	R5 当初 ①	R5 補正	R6 当初 ②	対前年 年度比 ②/①
多面的機能支払交付金	-	487	-	486	99.9%
中山間地域等直接支払交付金	-	261	-	261	100.0%
【その他非公共 計】	-	748	-	747	99.9%

(注) 1 計数整理の結果、異動を生じることがある。

〈令和6年度概算決定における農業農村整備関係事業の主な拡充内容〉

事業名	内容
農地中間管理機構関連農地整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域等の人口減少が著しい地域において、ほ場整備実施済み農地の省力化整備を行う場合の要件を新たに設定した省力化整備型を追加。
国営かんがい排水事業	<ul style="list-style-type: none"> 複数の排水施設の効率的な整備・管理を促進するため、かんがい排水事業と一体的に行う地域防災対策及び豪雨災害対策の末端支配面積要件を緩和。 農業用排水施設の整備と一体的に農道を整備することを可能に。
国営総合農地防災事業	<ul style="list-style-type: none"> 畑を受益地とする農業用排水施設について末端支配面積要件を引き下げ。 必要な耐震性を有していない農業用排水施設について、耐震化対策の効果の発揮と一体不可分となる更新整備を可能に。
農村地域防災減災事業	<ul style="list-style-type: none"> 湛水防除において、畑を受益地とするものについて受益面積要件を引き下げ。 ため池を改修する際、豪雨対策等を他の対策に先行させて段階的に整備することを可能にすることを明確化。
中山間地域農業農村総合整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 生産基盤1工種、全体で2工種以上で実施可能（現状は生産基盤2工種以上）とするとともに、生産・販売施設等を整備する場合は受益面積要件を10ha以上から5ha以上に緩和。
土地改良区体制強化事業	<ul style="list-style-type: none"> 土地改良区が都道府県土連や市町村と連携協力して実施する土地改良区の管理体制の拡充（集落等が管理する施設の土地改良区管理への変更等）に必要な調査、計画策定等を補助対象に追加。

愛媛県の令和5年度12月補正予算（総合経済対策関係）の概要

令和5年度12月補正予算（総合経済対策関係）は、同年11月29日に成立した国の総合経済対策に対応し、エネルギー価格・物価高騰への対応、防災・減災対策等の推進、物流の2024年問題など重要課題への対応などの経費を計上している。

このうち、農地整備課関係では、水田のほ場整備や農業水利施設の保全対策、ため池の改修・耐震補強など、国の補正予算に計上された「TPP対策」、「防災・減災対策」、「食料安全保障」の要件に合致する公共事業77地区の実施と、国営緊急農地再編整備事業「道前平野地区」の負担金に係る経費等として25億2,411万4千円を計上した。

【令和5年度12月補正予算（総合経済対策関係）（農地整備課関係）】

事項名	内容	予算額 (千円)
〈公共事業費〉		
かんがい排水事業費	かんがい排水施設等の整備や、老朽化した農業水利施設の保全対策工事などを行う経費。	338,011
農道整備事業費	農業生産の近代化、農産物等の輸送の合理化を図り、併せて農村環境の改善に資する農道整備を行う経費。	7,400
担い手育成基盤整備事業費	担い手への農用地利用集積を促進するため、樹園地や水田の区画形質の改善、農道・水路等の整備を一体的に行う経費。	356,349
農地再編復旧整備事業費	被災した柑橘園地において、周辺園地を含めた区画整理を行う再編復旧により、園地の緩傾斜化や農道・水路の整備を総合的に行う経費。	147,000
農村総合整備事業費	ほ場、農業用水路、ため池等の整備を総合的に行う経費。	4,500
小規模農業基盤整備事業費	農業経営の安定を図るため、農道、用排水路等の小規模な基盤整備のための経費。	2,875
海岸保全施設整備事業費	高潮、津波、波浪、侵食等による被害から海岸を防護し、国土を保全するために海岸保全施設の整備を行う経費。	62,045
地すべり対策事業費	農林水産省農村振興局所管の地すべり防止区域内において、農業基盤の維持、国土保全及び民生の安定化に資するための整備を行う経費。	120,225
ため池豪雨等防災対策事業費	豪雨による危険性が高まっている、または老朽化し危険な状態となっているため池を整備するための経費。	627,930
農業水利施設防災対策事業費	治水上支障がある取水堰等の補強や農地の湛水被害防止のための排水施設の整備を行う経費。	47,250
ため池地震防災対策事業費	大規模地震に備え、被災による影響が大きい防災重点ため池の耐震調査や耐震対策工事を実施するための経費。	395,850
ため池管理保全推進事業費	ため池の管理・監視体制の強化を図るため、ため池保全サポートセンターを活用し、ため池の劣化状況評価などに取り組む経費。	20,000
公共事業費 計		2,129,435
〈直轄事業負担金〉		
国営南予土地改良事業費繰出金	国営施設機能保全事業南予用水地区の当該年度事業費に対して負担する経費。	5,334
国営道前道後平野土地改良事業費繰出金	国営かんがい排水事業道前道後用水地区の当該年度事業費に対して負担する経費。	75,178
国営緊急農地再編整備事業費負担金	国営緊急農地再編整備事業道前平野地区の当該年度事業費に対して負担する経費。	314,167
直轄事業負担金 計		394,679
合計		2,524,114

第45回全国土地改良大会福井大会開催

水土里がある ^{しあわせ} 幸福がある 笑顔がある

～ふくいで語る土地改良の未来～



宮崎雅夫顧問より祝辞が述べられました。

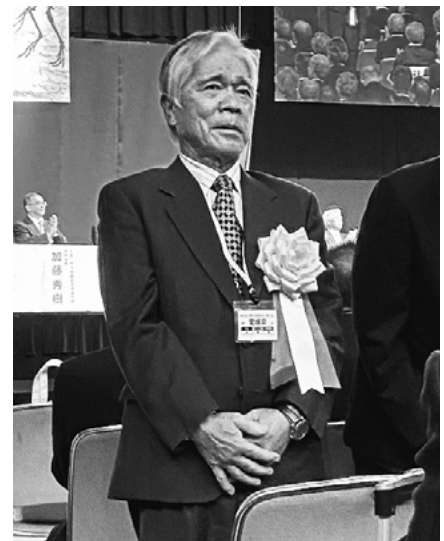
続いて、土地改良事業功績者表彰が行われ、受賞者のうち農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会長表彰44名の方々が会場で紹介され、本県関係者からは東温市見奈良土地改良区理事長 池川和裕氏が全土連会長表彰を受賞されました。

その後、青山健治農林水産省農村振興局次長が「未来へつなぐ土地改良」と題して基調講演を行うとともに、「土地改良における男女共同参画の取組み」について福井県の優良事例が紹介されました。

最後に、「未来の土地改良について語り、夢のある農業と賑わいのある農村の創出を目指すこと」を高らかに宣言し、次期開催県の千葉県へと大会旗が引き継がれ大会は閉会した。

10月11日(水)第45回全国土地改良大会福井大会が、福井県越前市サンドーム福井で開催され、全国から約4,000名余りの土地改良関係者が参集した。

式典では、開催県の水土里ネット福井 山崎正昭会長、主催者の全土連 義経賢二副会長挨拶の後、杉本達治福井県知事、山田賢一越前市長、佐々木勝久鯖江市長より歓迎のことば、来賓の武村展英農林水産副大臣、福井県選出の稲田朋美衆議院議員、水土里ネット会長会議 進藤金日子顧問、



池川和裕 理事長



進藤金日子 参議院議員
(全国水土里ネット会長会議顧問)



宮崎雅夫 参議院議員
(全国水土里ネット会長会議顧問)

「農業農村整備の集い」の開催



11月7日シェーンバッハ・サボー（東京都）において、「農業農村整備の集い～農を守り、地方を創る予算の確保に向けて～」が、全国土地改良事業団体連合会及び都道府県土地改良事業団体連合会の共催で開催され、多数の国会議員を含め約1,200名を超える土地改良関係者が全国から参集した。農林水産省からは、宮下一郎農林水産大臣、武村展英副大臣、鈴木憲和副大臣、舞立昇治大臣政務官、高橋光男大臣政務官をはじめ、長井俊彦農村振興

局長、青山健治同局次長ら幹部が出席された。

冒頭、主催者挨拶で二階俊博全土連会長が、十分な土地改良予算の確保に向け、一致団結して闘う必要があると訴えた。

臨席した宮下一郎農林水産大臣、高市早苗経済安全保障担当大臣、森山裕自民党総務会長、細田健一自民党農林部会長、全国水土里ネット会長会議顧問の進藤金日子参議院議員が祝辞を述べられた。

また、次期全国土地改良大会を開催する千葉県土連の小島光参事が、予算確保など10項目からなる要請案文を読み上げ、全会一致で採択された後、全国水土里ネット会長会議顧問の宮崎雅夫参議院議員による情勢報告と続いた。

最後に、全国水土里ネット女性の会の根本由紀子会長による“ガンバロウ”の三唱に参加者全員で応え幕を閉じた。



イベント情報

イベント	開催日	場 所	問合せ先	TEL	HP アドレス
東蓮寺ダム周辺 公園施設の清掃、美化活動	1月	宇和島市吉田	南予用水 土地改良区連合	0894-24-4835	https://www.nanyoyousui.or.jp/
佐古ダム草刈・清掃イベント	2月	東温市佐古ダム	道後平野 土地改良区	089-943-0922	http://www.dogo-kai.sakura.ne.jp/

国営事業3地区の合同陳情

本年度新規着工の国営かんがい排水事業「道前道後用水地区」並びに国営緊急農地再編整備事業「道前平野地区」及び国営施設機能保全事業「南予用水地区」の事業推進について、3地区の地元推進団体が、国（中国四国農政局、農林水産省、財務省）及び県選出国會議員等へ合同で提案活動を行いました。

〈令和5年11月6日(月)中国四国農政局〉

主な提案者

道前道後用水地区	加藤 章（東温市長）
道前平野地区	玉井敏久（西条市長）
南予用水地区	河野敬彦（南予用水土地改良区連合事務局長）
県 土 連	小崎勝次（専務理事）
愛媛県（随行）	笠見隆俊（農林水産部農業振興局技術監）

主な提案先

中国四国農政局 仙台光仁（局長）、古賀 徹（次長）、
小嶋義次（地方参事官）、都築慶剛（農村振興部長）、
愛宕徳行（水利整備課長）、野津裕之（農地整備課長）ほか

仙台農政局長からは、「土地改良事業は日本農業の競争力強化に重要だと考えている。令和6年度当初及び令和5年度補正をしっかりと要求していきたい。国営施設が地域の農業において非常に重要な役割を担い、その効果を十分活用していただいていることに感謝している。各地区の要望を踏まえ、引き続き事業の推進に努めていきたい。」との回答を頂きました。

〈令和5年11月13日(月)、14日(火)農林水産省、財務省、県選出国會議員等〉

主な提案者

道前道後用水地区	加藤 章（東温市長）
道前平野地区	宮竹英治（西条市農林水産部長）
南予用水地区	大城一郎（八幡浜市長）
県 土 連	小崎勝次（専務理事）
愛媛県（随行）	宮内真司（農林水産部農業振興局農地整備課技幹）



11月6日 仙台農政局長（右から3人目）



11月6日 農政局提案活動状況

主な提案先

農林水産省

横山 紳（農林水産事務次官）、渡邊 毅（官房長）、
杉中 淳（総括審議官）、長井俊彦（農村振興局長）、
青山健治（農村振興局次長）、緒方和之（農村振興局整備部長）ほか

財務省

前田 努（主計局次長）

国会議員

（衆）塩崎彰久、村上誠一郎、井原 巧、長谷川淳二、白石洋一、
（参）山本順三、山本博司、ながえ孝子、進藤金日子、宮崎雅夫

横山農林水産事務次官からは、「補正予算は去年より多く確保しており、当初予算の確保も頑張っていく。」渡邊官房長からは、「価格高騰等により事業の進捗が遅れないようしっかりと予算を確保していく。」長井農村振興局長からは、「補正予算の確保に続き、当初予算もしっかりと確保していく。我々の事業は、やれば効果が目に見えてくるので、今後もしっかりと進めていきたい。」前田財務省主計局次長からは「当初予算もこれからしっかりとつけさせていただく。」長谷川衆議院議員からは、「予算確保に向けしっかりとこれからもやっていく。」宮崎参議院議員からは、「今後もしっかりと予算を確保していく。」との回答をいただきました。



11月13日 横山農林水産事務次官（右から4人目）



11月13日 渡邊官房長（右から3人目）



11月13日 前田財務省主計局次長（右から4人目）



11月14日 長谷川衆議院議員（右から3人目）

農業農村整備に関する意見交換会の開催

令和5年11月14日、愛媛県県民文化会館において農林水産省主催の「農業農村整備に関する意見交換会」が開催された。

意見交換会には、農林水産省から水資源課 渡邊室長ほか1名、中国四国農政局から水利整備課 愛宕課長ほか6名、本県から愛媛県土地改良事業団体連合会 篠原会長をはじめ、土地改良区理事長、市町・JA・県関係者ら約40名が参加し、各団体から地域における課題、農業農村整備事業の制度拡充や要望、今後の事業実施等に必要な予算確保や土地改良区の複式簿記導入に係る支援など、活発な意見交換が行われた。



土地改良区の統合整備～合併予備契約の締結～ 【松山市太山寺土地改良区と松山市勝岡土地改良区】

中予地方局では、「愛媛県土地改良区統合整備基本計画」（令和4年3月第三次改訂）に基づき、土地改良区の統合整備を積極的に推進しているところで、今般、合併予備契約の締結（1件）が行われました。

予備契約を締結したのは、松山市太山寺土地改良区（森田克己理事長 組合員513人）と松山市勝岡土地改良区（岡本邦久理事長 組合員41人）で、来年度の合併認可を目指し、現在、鋭意手続きを進めているところです。

松山市の北西に位置する両土地改良区は、区域が隣接し組合員の重複も多いことから関連性が深く、農家の負担軽減と維持管理の合理化、効率的な組織運営を図りたいとの声も多くあったことから、令和5年5月に設立した合併推進協議会で、地域の将来について協議を進めてきました。

これにより、松山市太山寺土地改良区が松山市勝岡土地改良区を吸収することで合意に至り、12月19日（火）に、太山寺本村集会所において合併予備契約締結式が行われました。

当日は、愛媛県中予地方局農村整備第一課長らが来賓として招かれ、松山市農林土木課長が立会人となり、両土地改良区の理事長が合併予備契約書にそれぞれ署名しました。

松山市内における土地改良区の合併は、昨年度の石手川北部土地改良区と夫婦山土地改良区に続くもので、今後の松山市内の土地改良区の合併の先進的な好事例として大きな一歩となるものであり、マスコミも取材に訪れ報道されました。



合併予備契約書に署名後、握手する関係者
森田理事長（中央）、岡本理事長（右）、
山内松山市農林土木課長（左）

今治市犬塚池における池内堆積泥土を有効利用した ため池改修工事の取組について

東予地方局今治支局農村整備課

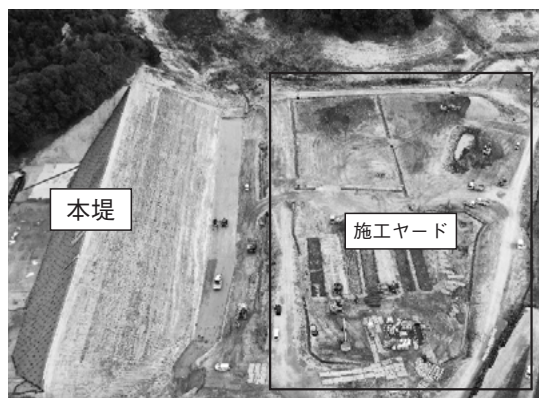
1. はじめに

愛媛県には、3,147^{*}箇所の農業用ため池があり、今治市内には県内で最も多い828^{*}箇所のため池があります。年間を通じて降水量が少ない当地域の農業にとって、ため池は欠かすことのできない水源である一方で、築造から100年以上経過しているため池が大半を占め、近年は、多発する豪雨等により全国各地で決壊等の被害が発生しています。このような状況を踏まえ、当課では、決壊時の影響が大きい防災重点ため池の計画的な改修に取り組んでいます。

今回報告する犬塚池は、堤高16.7m、貯水量約68万 m^3 で堤高・貯水量ともに今治市内で最も大きいため池です。現在、堤体の老朽化に伴う漏水や断面不足の改善にあわせ、堤体の耐震性を確保するための改修工事を進めており、施工に必要な刃金土を確保するため、県下で初めてとなる砕・転圧盛土工法を採用しています。※令和4年3月時点

2. 砕・転圧盛土工法のメリット

砕・転圧盛土工法は、池内に堆積している泥土等にセメント系固化材を攪拌混合し、一定期間固化させた後、解砕し、転圧・盛土することで、強度・遮水性・変形性等、堤体に要求される品質の築堤土を製造することができます。犬塚池では、当初、約3万 m^3 に上る刃金土や泥土等の残土処分場の確保が課題となっていました。砕・転圧盛土工法で泥土から刃金土を製造する計画とすることで、課題が解消され速やかに工事に着手することができました。



全景 (R5.2.1)

3. 現場施工について

工事の手順は、池内の施工ヤードに設けた5箇所のピット（幅4.5m×長25m×深2m）で泥土等とセメント系固化材を攪拌混合し、養生3日もしくは4日で解砕したうえで、施工箇所へ運搬し、当日中に転圧・盛土を行います。現場施工にあたっては、効率的に施工できる工程管理が不可欠なほか、一軸圧縮試験や三軸圧縮試験による強度の確認、現場透水試験による遮水性の確認等、日々の品質管理に細心の注意を払いながら施工しています。



施工状況 (R5.1.25)

4. おわりに

現在、改修工事は、地元の方々をはじめ多くの関係者のご協力により、令和7年度の完成を目指して順調に進んでいます。引き続き本事業を円滑に推進し、将来にわたり安全で安定的な農業用水を確保していくことで、地域農業・農村が持続的に発展するよう努めてまいります。

多面的機能支払交付金活動事例

下吾川第1区地域保全協議会

1. 地区の概要

下吾川第1区地域保全協議会は、伊予市街地近郊に位置し、西部の住宅地と併存する市街化区域農地と東部の農業振興区域農地が約半々である。水田においては米・麦、畑においては野菜などを中心に栽培している。活動は、農業者が中心となり、非農家の方の協力を得ながら、農用地14.8ha（田14.5ha、畑0.3ha）、水路8.6km、農道2.6km、ため池2カ所の保全管理に取り組んでいる。

2. 取り組みの経過

古くは農業が主体であったが、農業者の高齢化、担い手不足や非営農世帯の転入者増加等により、現在は農家が1割にも満たない地域となっている。農村環境を維持し、農業振興を図るために地域住民と一体となった保全管理を推進しようと本制度の活動に取り組んでいる。



3. 活動の概要

農業者が中心となり、非農家の方の協力を得ながら、農道の草刈りや水路の泥上げ等の維持管理に取り組んでいる。

また、地域内の交流を図るためにひまわりの植栽事業にも取り組んでいる。6月初めに種まきをし、下旬には地域内の子供からお年寄りまで、毎年120名程度が参加して植栽を行っている。また、地区のお祭りがひまわりの咲く時期に合わせて開催されており、お祭りを通して地域住民との交流を図っている。新型コロナの影響からお祭りを中止していたが、令和元年度以来4年ぶりに開催した今年の夏祭りには、約600名の地域住民が参加している。



4. 今後の課題

農業に携わる者が少なくなっており、年々農村環境の保全や施設の維持管理が難しくなっている。既に行っている地域住民との交流を今後も継続し、農業への理解を深めてもらうとともに、農業施設等の維持管理にも力を入れ、農業のしやすい環境作り、農業者の担い手作りに努めていきたい。

多面的機能支払交付金 ～会計事務に関するお知らせ～

透明性のある活動のために、適正な会計事務を行いましょう！

○**通帳と印鑑はそれぞれ別の者が管理！**

一人で現金を扱うことができない環境を整えましょう。

○**第三者が一連の会計事務を確認するタイミングを設ける！**

複数人で通帳・金銭出納簿を確認し、担当者とは違う目線で一連の会計事務を確認する体制を整えましょう。

○**現金の引き出しは、実績確定後に行う！**

事前に引き出すと、急遽参加できなくなった人がいた場合等に現金を管理する必要が生じるため、実績が確定した後に引き出すようにしましょう。

○**日当の支払いには押印ではなくサインをもらう（推奨）**

以前は押印推奨でしたが、印鑑を手に入れやすい時代となったことから、日当を支払う場合には受け取る人にサインをしてもらいましょう。

多面的機能支払交付金 ～年度末にかけてよくある質問～



今年度活動終期で、来年からまた活動する予定。交付金の持越しはできますか？

今年度活動終期でも、農地維持・共同については来年度の使用予定に基づき、3割を上限に持越しすることができます。長寿命化の残金は返還になります。



今年度で多面の活動をやめる予定。何か注意しておくことはありますか？

活動終了時点の残金は返還することになりますが、実際に返還するのは令和7年の2月あたりになるため、残金を管理する負担が生じます。このため、残金が「0」となるように活動されることをお勧めします。



どうしても使い切れず、残金が出た場合はいつ返還すればいいのですか？

返還の手続きは、実績報告の時点からほぼ1年後の2月～3月になります。市町から納入通知書が届いたら、残金（返還金）を入金してください。実績報告時点から返還までは、通帳残高が常に残金（返還金）以上になるよう注意してください。誤って使ってしまいそうな場合は別通帳を作成してもいいです。



令和5年度県土連理事会開催



10月5日(木)、県土連ビル会議室において令和5年度第2回理事会を開催した。

篠原会長による開会挨拶のあと、議事に入り「令和4年度事業報告及び一般会計・特別会計歳入歳出決算並びに財産目録について」が原案どおり可決承認された。

お知らせ

「えひめ水土里ネット女性の会」会員の募集

現在、土地改良団体における男女共同参画が全国的な取り組みとして推進されています。本県において水土里ネットの運営や活動に携わる女性の活躍及び参画の場を広げ、農業農村整備事業並びに土地改良区の円滑な業務の女性活躍に向けた環境づくりを図るため、「えひめ水土里ネット女性の会」を設立することとしました。

入会を希望される方は、入会届 (HPよりダウンロード) を郵送またはFAX等でお申込みください。

(活動内容)

- ・ 会員相互の情報ネットワークの確立
- ・ 研修会や講演会等の開催及び参加
- ・ 男女共同参画に係る情報発信 など

(会員資格)

会の目的に賛同する農業農村整備に携わる土地改良区等の女性役職員等

(会費)

1,000円 / 年

◇申し込み及びお問い合わせ先

〒790-0064

松山市愛光町1番24号(県土連ビル)

愛媛県土地改良事業団体連合会

総務部総務課(担当 喜安)

TEL 089-927-7000

FAX 089-927-7001

Mail somu@ehimedoren.or.jp

「令和5年度土地改良区役職員研修会」を開催

去る10月24日(火)松山市総合コミュニティセンター・文化ホール（キャメリアホール）において、令和5年度土地改良区役職員研修会を開催し、土地改良区等の役職員150名が参加した。

水土里ネット愛媛 高橋征三副会長の主催者挨拶の後、中国四国農政局土地改良管理課 川嶋課長及び県農地整備課 宮田課長からの来賓挨拶に続き、宮崎雅夫参議院議員からのビデオメッセージが披露された。研修会は、中国四国農政局土地改良管理課、全国土地改良事業団体連合会から講師を招き、講義が行われた。男女共同参画についての講義では、女性理事登用土地改良区を代表して、東温市上村土地改良区 高市理事長、松山市泊土地改良区 山内理事長、松山市市坪土地改良区 本田理事長から女性理事登用の経緯等が報告された。

- (1) 土地改良区等における男女共同参画について
中国四国農政局土地改良管理課 川嶋課長
- (2) 財務諸表等の作成手続きについて
全国土地改良事業団体連合会支援部 市村部長
- (3) 財務諸表等を活用した財務分析の方法について
全国土地改良事業団体連合会支援部 市村部長



宮崎雅夫参議院議員からのビデオメッセージ



講義をする川嶋課長

令和5年度換地計画実務研修会開催

去る12月14日、15日(金)にかけ、県土連ビル4Fにおいて、令和5年度換地計画実務研修会を県や市町、土地改良区、当会の換地業務に携わる職員21名の出席のもと開催した。

当研修会は、土地改良区体制強化事業の受益農地管理強化対策の一環として開催しており、換地技術の強化をはじめ、換地事務の円滑な推進や換地業務等に関する知識の向上を目的に、県内換地技術者の向上のため実施している。

今年度は、中国四国農政局、松山地方法務局、松山地方税務署及び全国土地改良事業団体連合会より講師を招き、専門性の高い内容を中心に実施した。

【研修内容】

1日目

- 『換地のあらまし』
- 『換地設計基準』
- 『相続登記の申請義務化と所有者不明土地解消に係る制度について』

2日目

- 『新たな財産管理制度について』
- 『創設換地の取り扱いについて』
- 『土地改良事業に伴う税務上の取り扱いについて』
- 『事例紹介』
- 『換地に関する権利等』



研修の様子

お知らせ

「愛媛のたなだん」フォトコンテスト2023入賞作品決定！

令和5年8月1日(火)～10月31日(火)に募集を行った「愛媛のたなだん」フォトコンテスト2023について、この度入賞作品が決定しました。最優秀賞には、田植え前の苗配りの情景を映し出した「オーナー田への苗配り」(撮影場所：榎谷棚田)が選出されたほか、優秀賞3作品、各棚田・段畑賞13作品が選ばれました。

〈最優秀賞〉	『オーナー田への苗配り』	(撮影場所：榎谷棚田)
〈優秀賞〉	『泉谷の棚田』	(撮影場所：泉谷)
	『棚田の収穫と秋の空』	(撮影場所：榎谷棚田)
	『夕暮れの水管理』	(撮影場所：雨滝音田の棚田)
〈千町の棚田賞〉	『穂がけと太陽』	
〈天川の棚田賞〉	『棚田コスモス畑』	
〈井内の棚田賞〉	『赤そば咲く』	
〈雨滝音田の棚田賞〉	『彼岸の畔より』	
〈奥松瀬川の棚田賞〉	『奥松瀬川の棚田』	
〈上林の棚田賞〉	『棚田の一軒家』	
〈下林の棚田賞〉	『下林の棚田』	
〈榎谷棚田賞〉	『色とりどり④』	
〈稲積棚田賞〉	『稲刈りを終えた棚田』	
〈堂の坂の棚田賞〉	『光に包まれて』	
〈宇和海狩浜の段畑賞〉	『残暑には涼しいシャワーがイイね!』	
〈泉谷賞〉	『案山子と棚田と黄金色の稲』	
〈奥内の棚田賞〉	『朝靄の棚田②』	



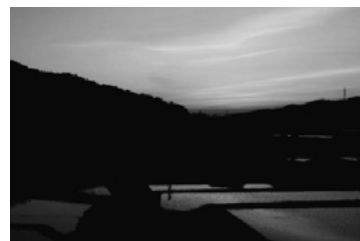
最優秀賞『オーナー田への苗配り』



優秀賞『泉谷の棚田』



優秀賞『棚田の収穫と秋の空』



優秀賞『夕暮れの水管理』

この他入賞作品についてはHP「愛媛のたなだん」をご覧ください。

URL : <https://ehime-tanadan.jp>





ため池管理者の方の相談窓口

毎週月～金曜日

※土日、祝日、年末年始(12月28日～1月3日)を除く

9:00～12:00 / 13:00～17:00

TEL:089-927-7211 FAX:089-927-7001

E-mail:tameikehozen-sc@ehimedoren.or.jp

- ご相談の際には、ため池の「名称」「所在地」をお知らせください
- 相談にお越しの際は、あらかじめ電話で予約をお願いします
- ため池管理者以外の方は、お住まいの市町担当窓口へご相談ください

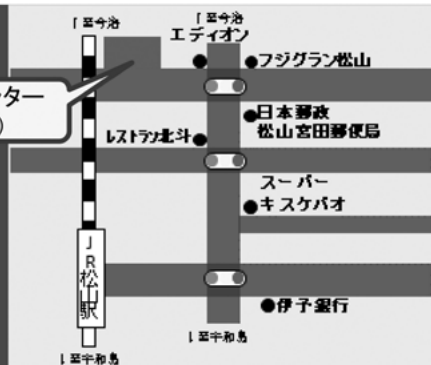
愛媛県ため池保全サポートセンター

〒790-0064

松山市愛光町1-24 (県土連ビル)

愛媛県土地改良事業団体連合会
(水土里ネット愛媛)

サポートセンター
(県土連)



第30回 農業農村整備事業 写真コンテスト 入選作品の紹介



優秀賞「WARAGURO DE NAIGHT」

撮影場所：西予市宇和町岩木
撮影者：水口 一也



特別賞「ため池を守る」

撮影場所：西予市宇和町野田
撮影者：前田 丈史

あけましておめでとうございます 令和6年元旦

監	監	代	理	理	理	理	理	理	理	常	専	副	副	副	会	愛媛県土地改良事業団体連合会	農地整備課長	農業振興局技術監	農業振興局長	部	愛媛県農林水産部				
表										務	務	会	会	会	長							長	長	長	長
事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事							宮	笠	小	末
員	波	本	川	水	本	家	宮	野	藤	田	林	井	田	崎	智							橋	城	原	田
一	頼	秀	雅	一	隆	忠	裕	興	敏	宜	勝	邦	征	一	孝	俊	伸	一							
同	豊	市	紀	文	浩	夫	久	康	章	三	通	久	也	次	典	三	郎	実							

水土里ネット愛媛



愛媛県土地改良事業団体連合会

本部 松山市愛光町1番24号(県土連ビル)
Tel (089)927-7000(代表) Fax (089)927-7001
ホームページ <http://www.ehimedoren.or.jp>
東予事務所 西条市壬生川111番地1
Tel (0898)76-7255(代表) Fax (0898)76-7257
南予事務所 西予市宇和町卯之町3丁目434番地1
Tel (0894)62-7522(代表) Fax (0894)62-7525